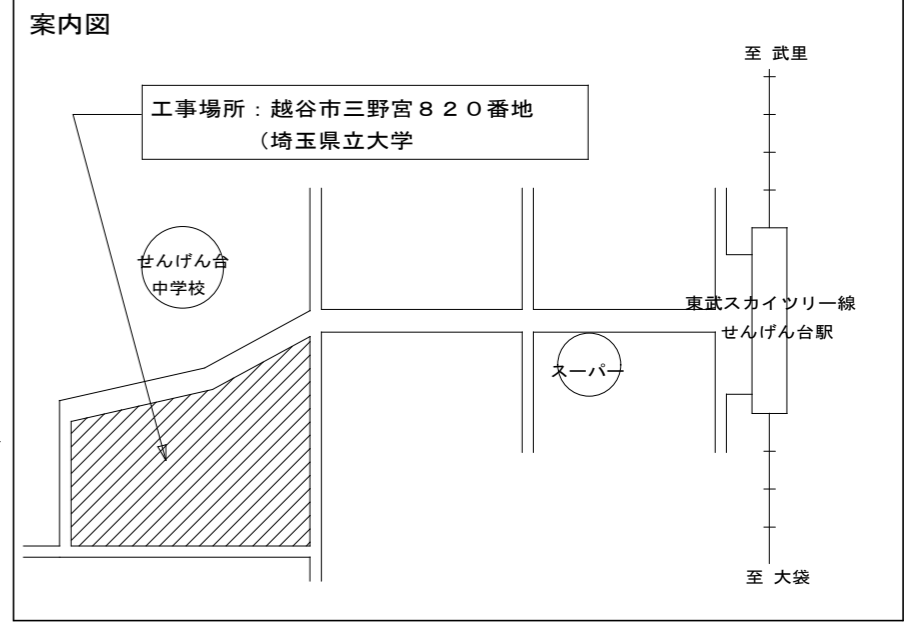
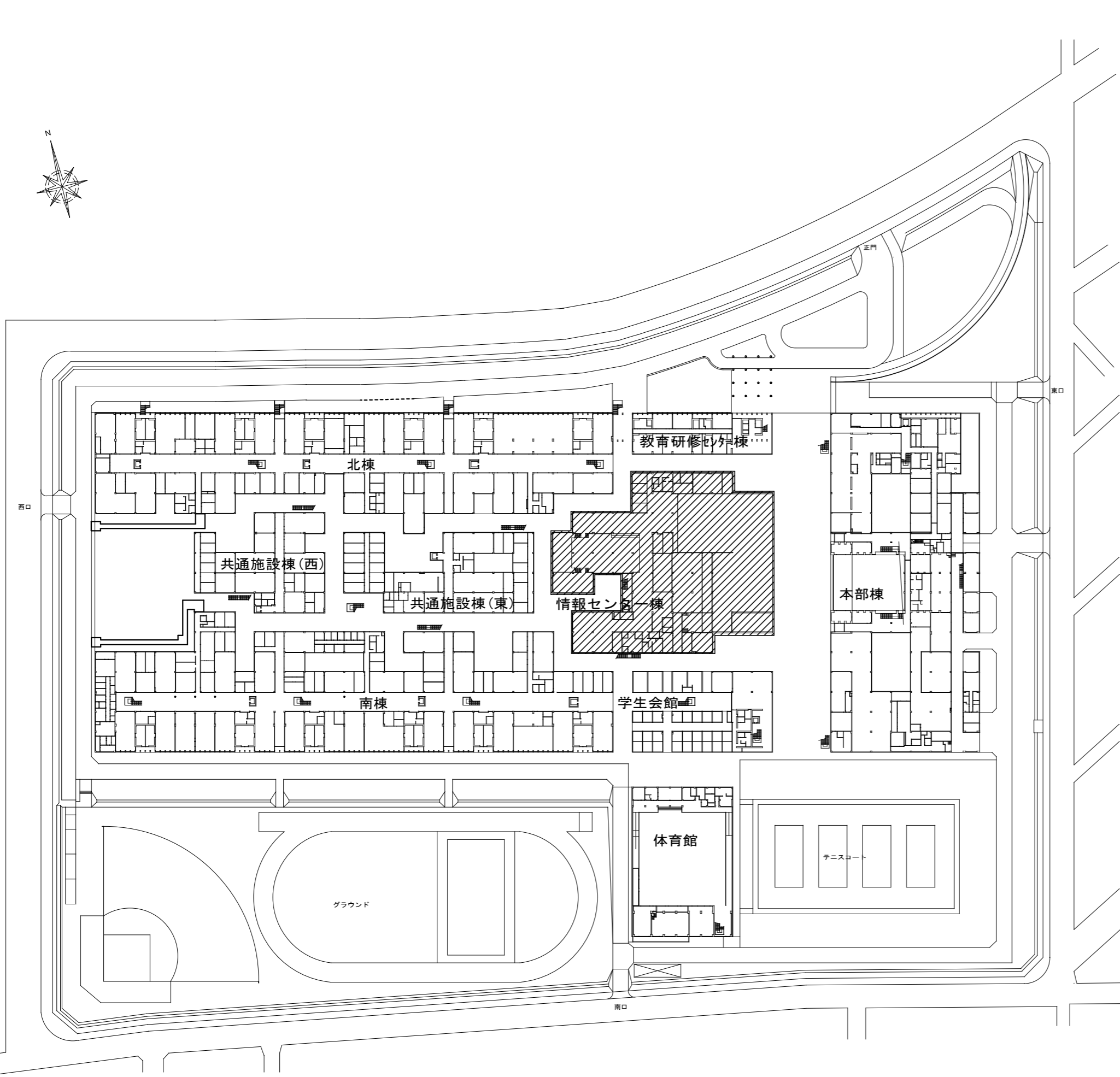


● 空気調和設備	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R 4 1 0 A、R 3 2 又はR 4 0 7 C) (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>11 振音装置</p> <p>12 そ の 他</p>	<p>トイレブースに設置する。</p> <p>衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>2 洗面器等の排水管</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手</p> <p>3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用</p> <p>別紙樹表による。</p>	<p>設計年月日</p> <p>公立大学法人</p> <p>埼玉県立大学</p> <p>局長</p> <p>副局長</p> <p>調整幹</p> <p>部長</p> <p>課長</p> <p>担当</p> <p>縮 尺</p> <p>工 事 名 称</p> <p>図 面 名</p> <p>図面番号</p>																																					
		<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分 ※C区分 ※D区分 ※E区分 ※F区分 ※G区分 ※H区分 ※I区分 ※J区分 ※K区分 ※L区分 ※M区分 ※N区分 ※O区分 ※P区分 ※Q区分 ※R区分 ※S区分 ※T区分 ※U区分 ※V区分 ※W区分 ※X区分 ※Y区分 ※Z区分 ※AA区分 ※AB区分 ※AC区分 ※AD区分 ※AE区分 ※AF区分 ※AG区分 ※AH区分 ※AI区分 ※AJ区分 ※AK区分 ※AL区分 ※AM区分 ※AN区分 ※AO区分 ※AP区分 ※AQ区分 ※AR区分 ※AS区分 ※AT区分 ※AU区分 ※AV区分 ※AW区分 ※AX区分 ※AY区分 ※AZ区分 ※BA区分 ※BB区分 ※BC区分 ※BD区分 ※BE区分 ※BF区分 ※BG区分 ※BH区分 ※BI区分 ※BJ区分 ※BK区分 ※BL区分 ※BM区分 ※BN区分 ※BO区分 ※BP区分 ※BQ区分 ※BR区分 ※BS区分 ※BT区分 ※BU区分 ※BV区分 ※BW区分 ※BX区分 ※BY区分 ※BZ区分 ※CA区分 ※CB区分 ※CC区分 ※CD区分 ※CE区分 ※CF区分 ※CG区分 ※CH区分 ※CI区分 ※CJ区分 ※CK区分 ※CL区分 ※CM区分 ※CN区分 ※CO区分 ※CP区分 ※CQ区分 ※CR区分 ※CS区分 ※CT区分 ※CU区分 ※CV区分 ※CW区分 ※CX区分 ※CY区分 ※CZ区分 ※DA区分 ※DB区分 ※DC区分 ※DD区分 ※DE区分 ※DF区分 ※DG区分 ※DH区分 ※DI区分 ※DJ区分 ※DK区分 ※DL区分 ※DM区分 ※DN区分 ※DO区分 ※DP区分 ※DQ区分 ※DR区分 ※DS区分 ※DT区分 ※DU区分 ※DV区分 ※DW区分 ※DX区分 ※DY区分 ※DZ区分 ※EA区分 ※EB区分 ※EC区分 ※ED区分 ※EE区分 ※EF区分 ※EG区分 ※EH区分 ※EI区分 ※EJ区分 ※EK区分 ※EL区分 ※EM区分 ※EN区分 ※EO区分 ※EP区分 ※EQ区分 ※ER区分 ※ES区分 ※ET区分 ※EU区分 ※EV区分 ※EW区分 ※EX区分 ※EY区分 ※EZ区分 ※FA区分 ※FB区分 ※FC区分 ※FD区分 ※FE区分 ※FF区分 ※FG区分 ※FH区分 ※FI区分 ※FJ区分 ※FK区分 ※FL区分 ※FM区分 ※FN区分 ※FO区分 ※FP区分 ※FQ区分 ※FR区分 ※FS区分 ※FT区分 ※FU区分 ※FV区分 ※FW区分 ※FX区分 ※FY区分 ※FZ区分 ※GA区分 ※GB区分 ※GC区分 ※GD区分 ※GE区分 ※GF区分 ※GG区分 ※GH区分 ※GI区分 ※GJ区分 ※GK区分 ※GL区分 ※GM区分 ※GN区分 ※GO区分 ※GP区分 ※GQ区分 ※GR区分 ※GS区分 ※GT区分 ※GU区分 ※GV区分 ※GW区分 ※GX区分 ※GY区分 ※GZ区分 ※HA区分 ※HB区分 ※HC区分 ※HD区分 ※HE区分 ※HF区分 ※HG区分 ※HH区分 ※HI区分 ※HJ区分 ※HK区分 ※HL区分 ※HM区分 ※HN区分 ※HO区分 ※HP区分 ※HQ区分 ※HR区分 ※HS区分 ※HT区分 ※HU区分 ※HV区分 ※HW区分 ※HX区分 ※HY区分 ※HZ区分 ※IA区分 ※IB区分 ※IC区分 ※ID区分 ※IE区分 ※IF区分 ※IG区分 ※IH区分 ※II区分 ※IJ区分 ※IK区分 ※IL区分 ※IM区分 ※IN区分 ※IO区分 ※IP区分 ※IQ区分 ※IR区分 ※IS区分 ※IT区分 ※IU区分 ※IV区分 ※IW区分 ※IX区分 ※IY区分 ※IZ区分 ※JA区分 ※JB区分 ※JC区分 ※JD区分 ※JE区分 ※JF区分 ※JG区分 ※JH区分 ※JI区分 ※JJ区分 ※JK区分 ※JL区分 ※JM区分 ※JN区分 ※JO区分 ※JP区分 ※JQ区分 ※JR区分 ※JS区分 ※JT区分 ※JU区分 ※JV区分 ※JW区分 ※JX区分 ※JY区分 ※JZ区分 ※KA区分 ※KB区分 ※KC区分 ※KD区分 ※KE区分 ※KF区分 ※KG区分 ※KH区分 ※KI区分 ※KJ区分 ※KK区分 ※KL区分 ※KM区分 ※KN区分 ※KO区分 ※KP区分 ※KQ区分 ※KR区分 ※KS区分 ※KT区分 ※KU区分 ※KV区分 ※KW区分 ※KX区分 ※KY区分 ※KZ区分 ※LA区分 ※LB区分 ※LC区分 ※LD区分 ※LE区分 ※LF区分 ※LG区分 ※LH区分 ※LI区分 ※LJ区分 ※LK区分 ※LL区分 ※LM区分 ※LN区分 ※LO区分 ※LP区分 ※LQ区分 ※LR区分 ※LS区分 ※LT区分 ※LU区分 ※LV区分 ※LW区分 ※LX区分 ※LY区分 ※LZ区分 ※MA区分 ※MB区分 ※MC区分 ※MD区分 ※ME区分 ※MF区分 ※MG区分 ※MH区分 ※MI区分 ※MJ区分 ※MK区分 ※ML区分 ※MN区分 ※MO区分 ※MP区分 ※MQ区分 ※MR区分 ※MS区分 ※MT区分 ※MU区分 ※MV区分 ※MW区分 ※MX区分 ※MY区分 ※MZ区分 ※NA区分 ※NB区分 ※NC区分 ※ND区分 ※NE区分 ※NF区分 ※NG区分 ※NH区分 ※NI区分 ※NJ区分 ※NK区分 ※NL区分 ※NM区分 ※NO区分 ※NP区分 ※NQ区分 ※NR区分 ※NS区分 ※NT区分 ※NU区分 ※NV区分 ※NW区分 ※NX区分 ※NY区分 ※NZ区分 ※OA区分 ※OB区分 ※OC区分 ※OD区分 ※OE区分 ※OF区分 ※OG区分 ※OH区分 ※OI区分 ※OJ区分 ※OK区分 ※OL区分 ※OM区分 ※ON区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※UO区分 ※UP区分 ※UQ区分 ※UR区分 ※US区分 ※UT区分 ※UU区分 ※UV区分 ※UW区分 ※UX区分 ※UY区分 ※UZ区分 ※VA区分 ※VB区分 ※VC区分 ※VD区分 ※VE区分 ※VF区分 ※VG区分 ※VH区分 ※VI区分 ※VJ区分 ※VK区分 ※VL区分 ※VM区分 ※VN区分 ※VO区分 ※VP区分 ※VQ区分 ※VR区分 ※VS区分 ※VT区分 ※VU区分 ※VV区分 ※VW区分 ※VX区分 ※VY区分 ※VZ区分 ※WA区分 ※WB区分 ※WC区分 ※WD区分 ※WE区分 ※WF区分 ※WG区分 ※WH区分 ※WI区分 ※WJ区分 ※WK区分 ※WL区分 ※WM区分 ※WN区分 ※WO区分 ※WP区分 ※WQ区分 ※WR区分 ※WS区分 ※WT区分 ※WU区分 ※WV区分 ※WW区分 ※WX区分 ※WY区分 ※WZ区分 ※XA区分 ※XB区分 ※XC区分 ※XD区分 ※XE区分 ※XF区分 ※XG区分 ※XH区分 ※XI区分 ※XJ区分 ※XK区分 ※XL区分 ※XM区分 ※XN区分 ※XO区分 ※XP区分 ※XQ区分 ※XR区分 ※XS区分 ※XT区分 ※XU区分 ※XV区分 ※XW区分 ※XX区分 ※XY区分 ※XZ区分 ※YA区分 ※YB区分 ※YC区分 ※YD区分 ※YE区分 ※YF区分 ※YG区分 ※YH区分 ※YI区分 ※YJ区分 ※YK区分 ※YL区分 ※YM区分 ※YN区分 ※YO区分 ※YP区分 ※YQ区分 ※YR区分 ※YS区分 ※YT区分 ※YU区分 ※YV区分 ※YW区分 ※YX区分 ※YY区分 ※YZ区分 ※ZA区分 ※ZB区分 ※ZC区分 ※ZD区分 ※ZE区分 ※ZF区分 ※ZG区分 ※ZH区分 ※ZI区分 ※ZJ区分 ※ZK区分 ※ZL区分 ※ZM区分 ※ZN区分 ※ZO区分 ※ZP区分 ※ZQ区分 ※ZR区分 ※ZS区分 ※ZT区分 ※ZU区分 ※ZV区分 ※ZW区分 ※ZX区分 ※ZY区分 ※ZZ区分</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シnder内配管</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・H I V P ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部（・圧縮 ・グロブ）は便所 ・廊下通り漏り露出配管（※拡管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた漏水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。 7. 地中埋設部（水道直結部分）は水道事業者の指示による。 8. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。 9. 住戸内は、さや管ヘッダー配管システムとする。</p>	施 工 箇 所	管 種 別		床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS	地中埋設部（水道直結部分）	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	湿潤シnder内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管	<p>1 配管材料</p> <p>・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-IIによる。</p> <p>4 ガス瞬間沸湯器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熟慮注意」の表示をする。</p>
		施 工 箇 所	管 種 別																																								
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・ポリブテン管																																									
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シnder内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																									
	保温をしない屋外露出部	※SUS																																									
	地中埋設部（水道直結部分）	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																									
	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																									
	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 ・架橋ポリエチレン管																																									
	便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																									
	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																									
	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																									
	その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																									
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																									
	湿潤シnder内配管	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																									
	保温をしない屋外露出部	※SUS																																									
	地中埋設部（一般部分）	※H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																									
便所天井内、P S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																										
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																										
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																										
その他の部分	※SUS ・H I V P ・ポリブテン管																																										
<p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※S G P（白） ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	厨房等の温排水	※S G P（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）	その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管	その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）	その他の部分	※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はP E管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ S G P（白） 地中埋設 ※ガス用P E管 ・</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>																			
施 工 箇 所	管 種 別																																										
床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
厨房等の温排水	※S G P（白） ・																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）																																										
その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管																																										
その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
地中埋設部	※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）																																										
その他の部分	※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
<p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3. 2mm ・4. 5mm) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・設けない</p>	<p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。</p>	<p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>5 量水器柵</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱（1200 L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（・（a） ・（b） ・（c））</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※S G P（白） ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、R F - V P、R S - V U又は、R E P - V Uは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 45度で行う。 4. 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	厨房等の温排水	※S G P（白） ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）	その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管	その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）	その他の部分	※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																		
施 工 箇 所	管 種 別																																										
床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
厨房等の温排水	※S G P（白） ・																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）																																										
その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・排水用/ホトニシ球 形塗装鋼管																																										
その他の部分	※R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
地中埋設部	※R S - V U 又はリサイクルV U ・ V U ・R E P - V U（軽重量の場合） ・R F - V P 又はリサイクルV P ・ V P																																										
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (F D P S - 1) 又は耐火V P ・ S G P（白）																																										
その他の部分	※リサイクルV P 又はR F - V P ・ V P ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																										
<p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・本工事</p>	<p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p>	<p>2 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>5 量水器柵</p> <p>※水道事業者指定品 ・標準図M C形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は10 Kとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・防寒コンクリート水栓柱（1200 L） ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（・（a） ・（b） ・（c））</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	<p>1 配管材料</p> <p>・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はP E管を原則とする。 ・液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ S G P（白） 地中埋設 ※ガス用P E管 ・</p> <p>2 漏洩検知装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給権</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。</p>																																								
<p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分 ※C区分 ※D区分 ※E区分 ※F区分 ※G区分 ※H区分 ※I区分 ※J区分 ※K区分 ※L区分 ※M区分 ※N区分 ※O区分 ※P区分 ※Q区分 ※R区分 ※S区分 ※T区分 ※U区分 ※V区分 ※W区分 ※X区分 ※Y区分 ※Z区分 ※AA区分 ※AB区分 ※AC区分 ※AD区分 ※AE区分 ※AF区分 ※AG区分 ※AH区分 ※AI区分 ※AJ区分 ※AK区分 ※AL区分 ※AM区分 ※AN区分 ※AO区分 ※AP区分 ※AQ区分 ※AR区分 ※AS区分 ※AT区分 ※AU区分 ※AV区分 ※AW区分 ※AX区分 ※AY区分 ※AZ区分 ※BA区分 ※BB区分 ※BC区分 ※BD区分 ※BE区分 ※BF区分 ※BG区分 ※BH区分 ※BI区分 ※BJ区分 ※BK区分 ※BL区分 ※BM区分 ※BN区分 ※BO区分 ※BP区分 ※BQ区分 ※BR区分 ※BS区分 ※BT区分 ※BU区分 ※BV区分 ※BW区分 ※BX区分 ※BY区分 ※BZ区分 ※CA区分 ※CB区分 ※CC区分 ※CD区分 ※CE区分 ※CF区分 ※CG区分 ※CH区分 ※CI区分 ※CJ区分 ※CK区分 ※CL区分 ※CM区分 ※CN区分 ※CO区分 ※CP区分 ※CQ区分 ※CR区分 ※CS区分 ※CT区分 ※CU区分 ※CV区分 ※CW区分 ※CX区分 ※CY区分 ※CZ区分 ※DA区分 ※DB区分 ※DC区分 ※DD区分 ※DE区分 ※DF区分 ※DG区分 ※DH区分 ※DI区分 ※DJ区分 ※DK区分 ※DL区分 ※DM区分 ※DN区分 ※DO区分 ※DP区分 ※DQ区分 ※DR区分 ※DS区分 ※DT区分 ※DU区分 ※DV区分 ※DW区分 ※DX区分 ※DY区分 ※DZ区分 ※EA区分 ※EB区分 ※EC区分 ※ED区分 ※EE区分 ※EF区分 ※EG区分 ※EH区分 ※EI区分 ※EJ区分 ※EK区分 ※EL区分 ※EM区分 ※EN区分 ※EO区分 ※EP区分 ※EQ区分 ※ER区分 ※ES区分 ※ET区分 ※EU区分 ※EV区分 ※EW区分 ※EX区分 ※EY区分 ※EZ区分 ※FA区分 ※FB区分 ※FC区分 ※FD区分 ※FE区分 ※FF区分 ※FG区分 ※GH区分 ※HI区分 ※HJ区分 ※HK区分 ※HL区分 ※HM区分 ※HN区分 ※HO区分 ※HP区分 ※HQ区分 ※HR区分 ※HS区分 ※HT区分 ※HU区分 ※HV区分 ※HW区分 ※HX区分 ※HY区分 ※HZ区分 ※IA区分 ※IB区分 ※IC区分 ※ID区分 ※IE区分 ※IF区分 ※IG区分 ※IH区分 ※II区分 ※IJ区分 ※IK区分 ※IL区分 ※IM区分 ※IN区分 ※IO区分 ※IP区分 ※IQ区分 ※IR区分 ※IS区分 ※IT区分 ※IU区分 ※IV区分 ※IW区分 ※IX区分 ※IY区分 ※IZ区分 ※JA区分 ※JB区分 ※JC区分 ※JD区分 ※JE区分 ※JF区分 ※JG区分 ※JH区分 ※JI区分 ※JJ区分 ※JK区分 ※JL区分 ※JM区分 ※JN区分 ※JO区分 ※JP区分 ※JQ区分 ※JR区分 ※JS区分 ※JT区分 ※JU区分 ※JV区分 ※JW区分 ※JX区分 ※JY区分 ※JZ区分 ※KA区分 ※KB区分 ※KC区分 ※KD区分 ※KE区分 ※KF区分 ※KG区分 ※KH区分 ※KI区分 ※KJ区分 ※KL区分 ※KM区分 ※KN区分 ※KO区分 ※KP区分 ※KQ区分 ※KR区分 ※KS区分 ※KT区分 ※KU区分 ※KV区分 ※KW区分 ※KX区分 ※KY区分 ※KZ区分 ※LA区分 ※LB区分 ※LC区分 ※LD区分 ※LE区分 ※LF区分 ※LG区分 ※LH区分 ※LI区分 ※LJ区分 ※LK区分 ※LM区分 ※LN区分 ※LO区分 ※LP区分 ※LQ区分 ※LR区分 ※LS区分 ※LT区分 ※LU区分 ※LV区分 ※LW区分 ※LX区分 ※LY区分 ※LZ区分 ※MA区分 ※MB区分 ※MC区分 ※MD区分 ※ME区分 ※MF区分 ※MG区分 ※MH区分 ※MI区分 ※MJ区分 ※MK区分 ※ML区分 ※MN区分 ※MO区分 ※MP区分 ※MQ区分 ※MR区分 ※MS区分 ※MT区分 ※MU区分 ※MV区分 ※MW区分 ※MX区分 ※MY区分 ※MZ区分 ※NA区分 ※NB区分 ※NC区分 ※ND区分 ※NE区分 ※NF区分 ※NG区分 ※NH区分 ※NI区分 ※NJ区分 ※NK区分 ※NL区分 ※NM区分 ※NO区分 ※NP区分 ※NQ区分 ※NR区分 ※NS区分 ※NT区分 ※NU区分 ※NV区分 ※NW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU区分 ※QV区分 ※QW区分 ※QX区分 ※QY区分 ※QZ区分 ※RA区分 ※RB区分 ※RC区分 ※RD区分 ※RE区分 ※RF区分 ※RG区分 ※RH区分 ※RI区分 ※RJ区分 ※RK区分 ※RL区分 ※RM区分 ※RN区分 ※RO区分 ※RP区分 ※RQ区分 ※RR区分 ※RS区分 ※RT区分 ※RU区分 ※RV区分 ※RW区分 ※RX区分 ※RY区分 ※RZ区分 ※SA区分 ※SB区分 ※SC区分 ※SD区分 ※SE区分 ※SF区分 ※SG区分 ※SH区分 ※SI区分 ※SJ区分 ※SK区分 ※SL区分 ※SM区分 ※SN区分 ※SO区分 ※SP区分 ※SQ区分 ※SR区分 ※SS区分 ※ST区分 ※SU区分 ※SV区分 ※SW区分 ※SX区分 ※SY区分 ※SZ区分 ※TA区分 ※TB区分 ※TC区分 ※TD区分 ※TE区分 ※TF区分 ※TG区分 ※TH区分 ※TI区分 ※TJ区分 ※TK区分 ※TL区分 ※TM区分 ※TN区分 ※TO区分 ※TP区分 ※TQ区分 ※TR区分 ※TS区分 ※TT区分 ※TU区分 ※TV区分 ※TW区分 ※TX区分 ※TY区分 ※TZ区分 ※UA区分 ※UB区分 ※UC区分 ※UD区分 ※UE区分 ※UF区分 ※UG区分 ※UH区分 ※UI区分 ※UJ区分 ※UK区分 ※UL区分 ※UM区分 ※UN区分 ※OO区分 ※OP区分 ※OQ区分 ※OR区分 ※OS区分 ※OT区分 ※OU区分 ※OV区分 ※OW区分 ※OX区分 ※OY区分 ※OZ区分 ※PA区分 ※PB区分 ※PC区分 ※PD区分 ※PE区分 ※PF区分 ※PG区分 ※PH区分 ※PI区分 ※PJ区分 ※PK区分 ※PL区分 ※PM区分 ※PN区分 ※PO区分 ※PP区分 ※PQ区分 ※PR区分 ※PS区分 ※PT区分 ※PU区分 ※PV区分 ※PW区分 ※PX区分 ※PY区分 ※PZ区分 ※QA区分 ※QB区分 ※QC区分 ※QD区分 ※QE区分 ※QF区分 ※QG区分 ※QH区分 ※QI区分 ※QJ区分 ※QK区分 ※QL区分 ※QM区分 ※QN区分 ※QO区分 ※QP区分 ※QQ区分 ※QR区分 ※QS区分 ※QT区分 ※QU</p>																																											



▨ : 今回工事を示す。

共通事項	公立大学法人 埼玉県立大学	局長	副局長	部長	課長	担当	業務名称	工事名称	縮尺	年度	図面番号
							株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 第12961号	26埼玉県立大学情報センター棟空調設備改修工事			
							本社 東京 支所 東北・札幌・名古屋・九州	図面名称			
							印	案内図・配置図			

改修機器表

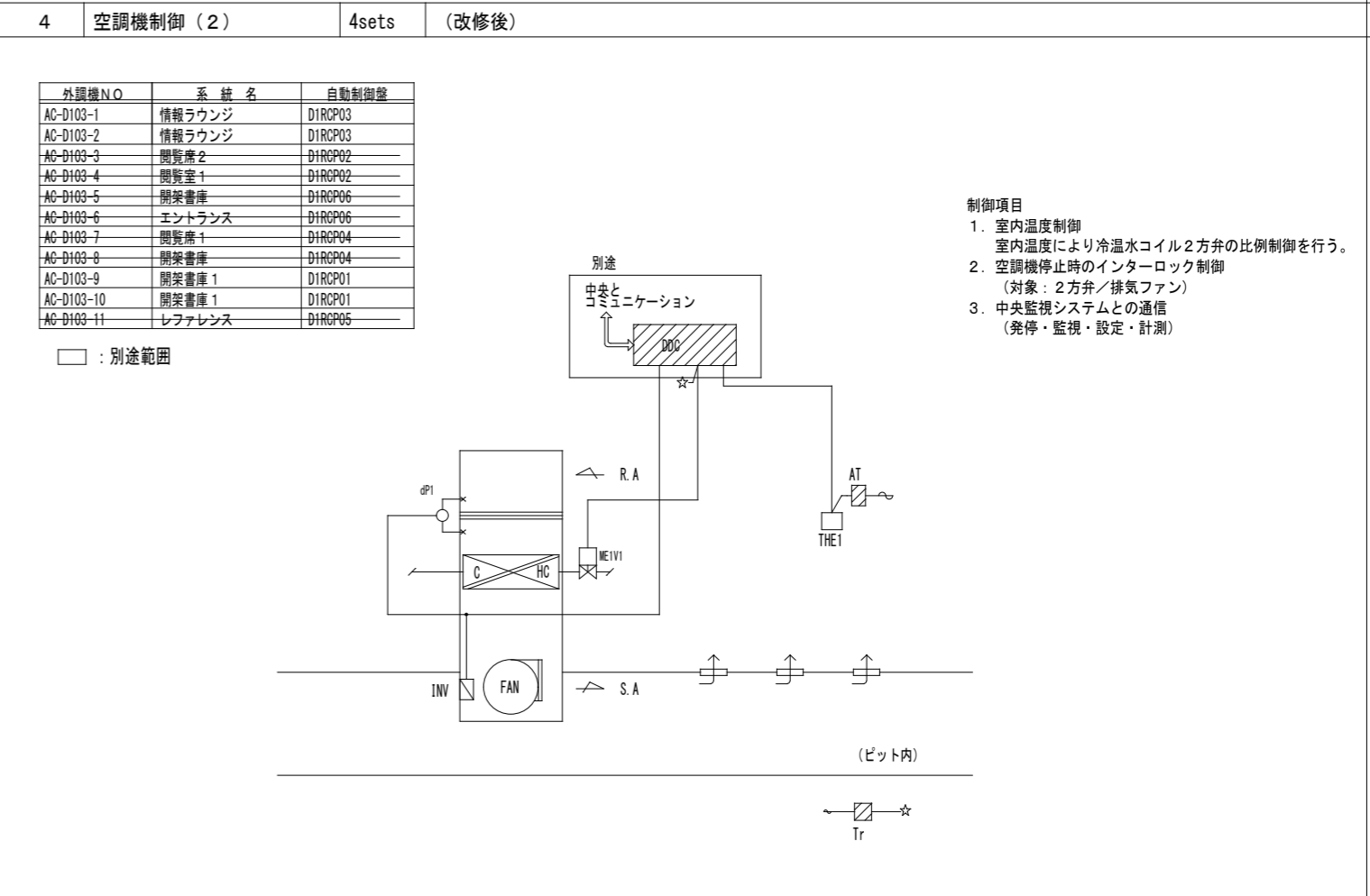
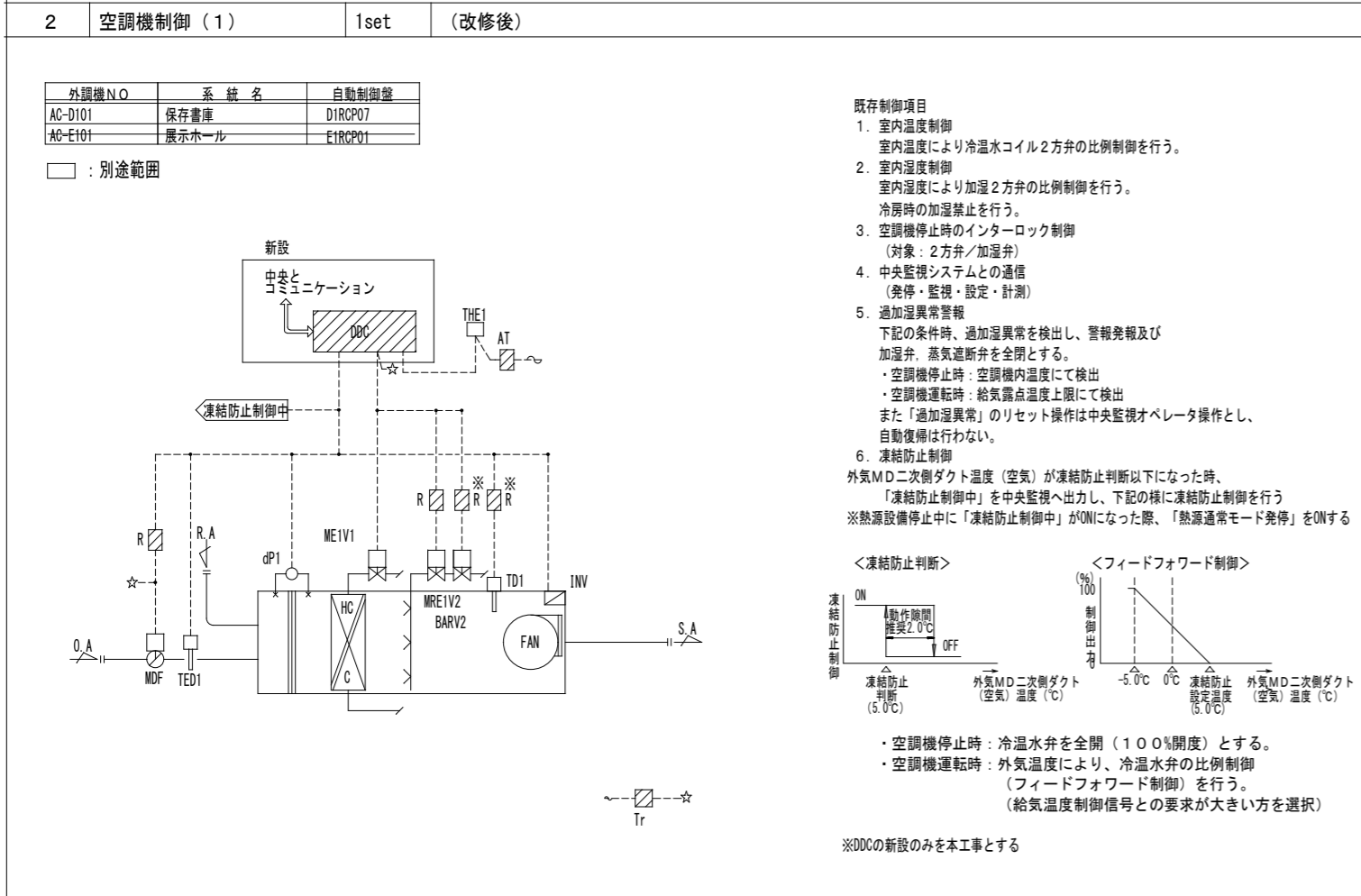
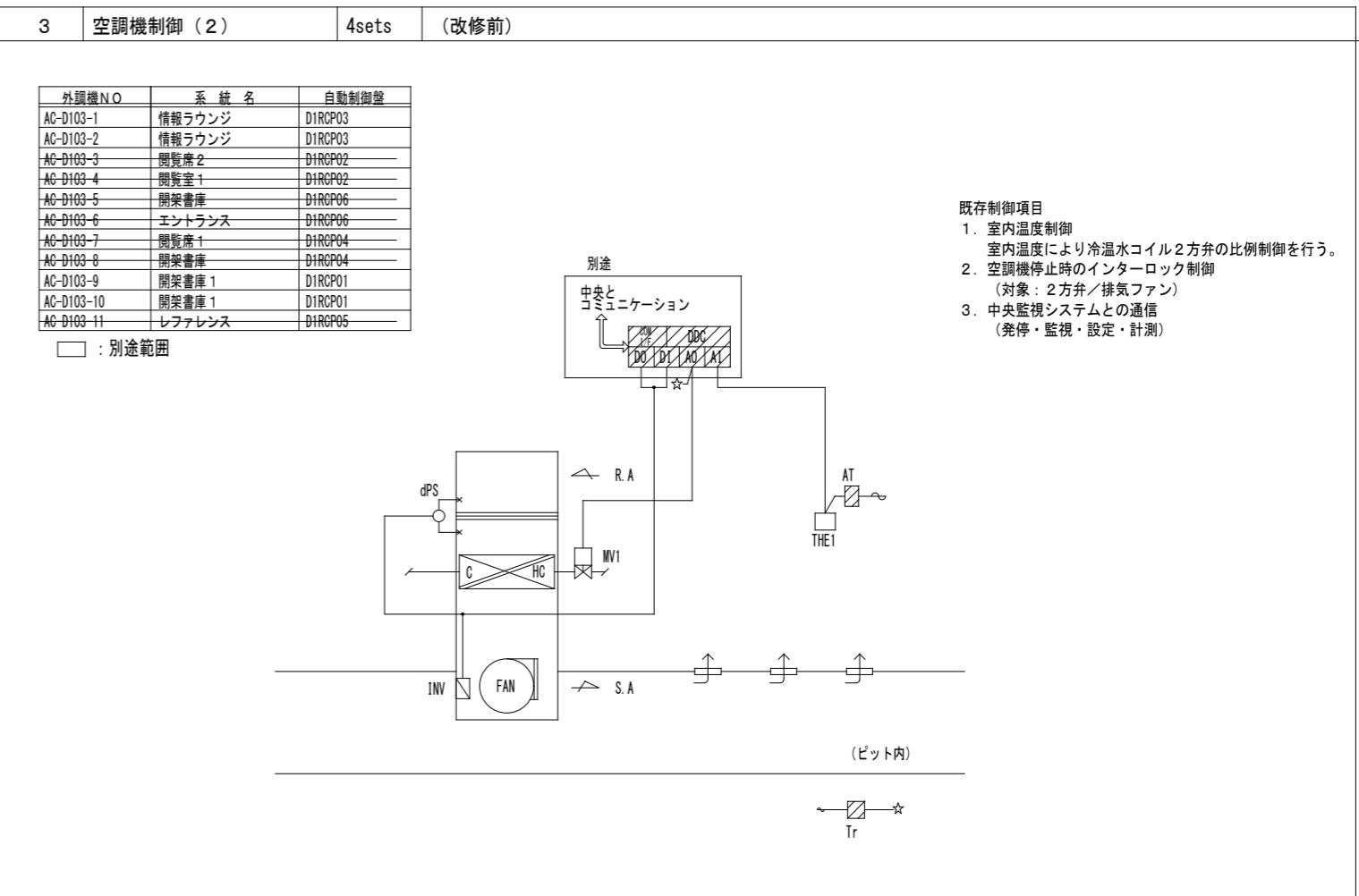
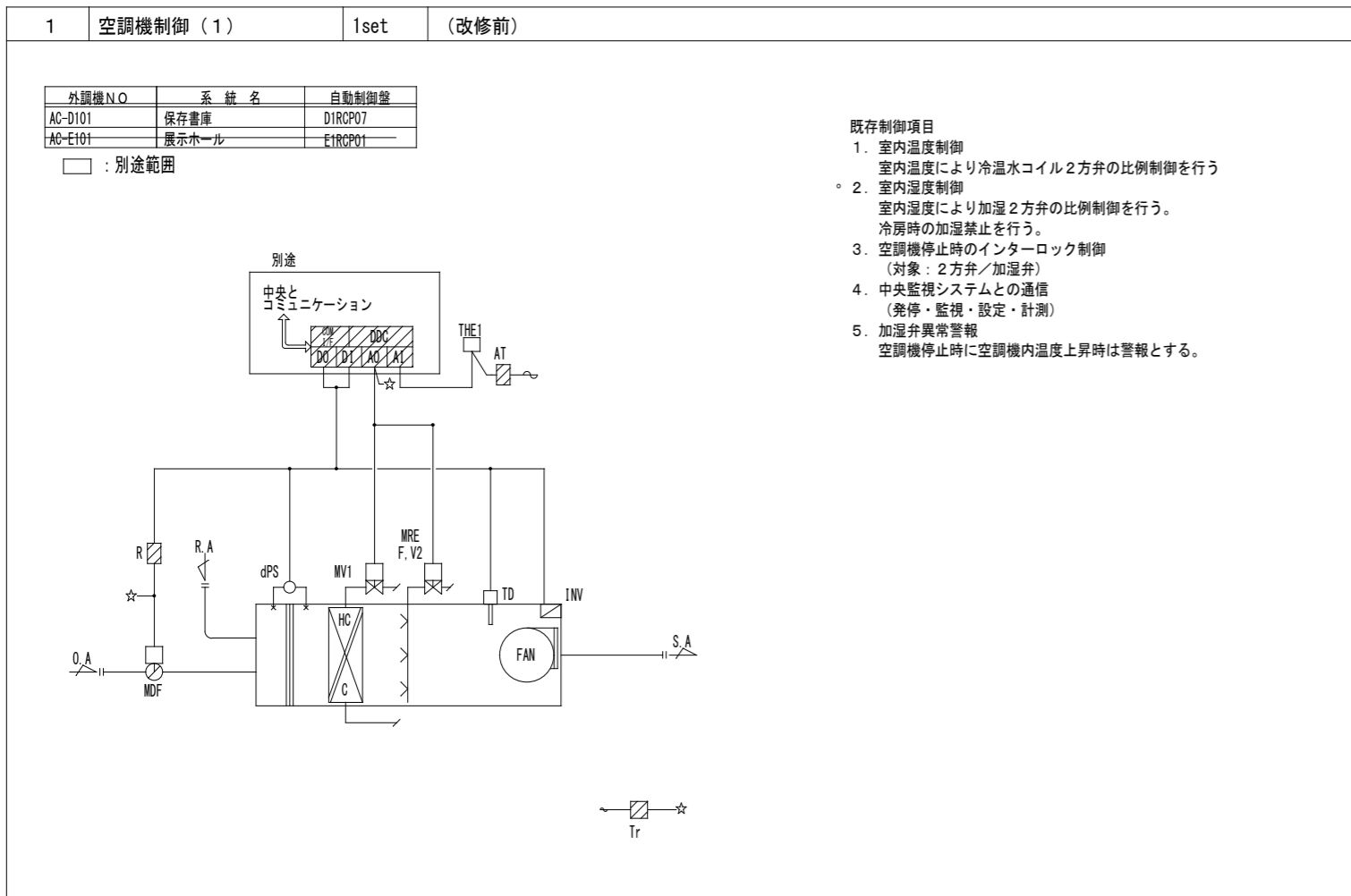
機器表は国土交通省仕様標準に準ずる。

ユニット型空調和機		機器仕様		ファンユニット							コイル	冷却コイル					加熱コイル					加湿ユニット				メインフィルター		プレフィルター		付属品・特殊仕様	台数	設置場所 (階・室名)	備考																	
機器番号	名称	形式	設置位置	送風量 m3/h	外気量 m3/h	機外静圧 mmAq	機内静圧 mmAq	電動機容量 KW	防振装置	風量静圧 装置	組合せ	冷却能力					加熱能力					種類	有効加湿量		電気容量		出口空気		形式	電気容量 KW				形式	電気容量 KW	湿気付mm ³ L mm	特殊仕様													
												KW	DB°C	WB°C	DB°C	WB°C	W/yin	KW	DB°C	WB°C	DB°C		WB°C	W/yin kg/h	kg/h	KW	DB°C	WB°C																						
AC-D101	空調機 (保存書庫系統)	C	床	4,800	2,500	25		2.2	SPT	IN	CH	45.24	29.9	23.2	15	14.4	130	26.7	11	6	27.8	13.5	80	SW	16			27.8	16	P1			P2				1	1階機械室												
AC-D103(1)	アンダーフロアー空調機	C	床	5,200		5		0.5×2	SPT	IN	CH	20.1	26.0	18.6	14.0	13.6	58	10.44	22	13.8	36.5	13.7	58	-	0						P1			P2			4	1階機械室												
共通事項		<p>1) 機器の能力・容量は、表示された数値以上とし、電動機出力は、参考値とする。</p> <p>2) 電源周波数は、50Hzとする。また、モーター極数は4P以上とする。</p> <p>3) 始動方式は、11.0kV以上スターデルタ電動機で、7.5kV以下直入始動とする。</p> <p>4) 電動機の保護方法は、室内は防滴保護形で、屋外は全閉防まつ屋形とする。</p> <p>5) 電源接続におけるスターデルタ電動機の電源接続ボックスが配管2本接続可能なサイズとする。</p> <p>6) ※印は、コンパクト型には適用しない。</p> <p>7) 機器などの記入寸法は、全て概算寸法を示す。</p> <p>8) 形式 V: 壁型 H: 水平型 S: システム型 M: マルチゾーン型 FR: 遠風機 C: コンパクト型 CF: コンパクト型 (遠風機) CX: コンパクト型 (遠風機・全熱交換機)</p>										<p>1) 機外静圧は、74Pa圧損を含むものとする。</p> <p>2) 電動機は三相×200V用とする。</p> <p>3) 防振装置ストップ付 ファンケージ部分のみとする。 P T: 防振パッド (15t) G M: 防振ゴム S P T: 防振パッド (振動絶縁効率80%以上) S P T: 防振パッド</p> <p>4) 風量制御装置 I N: 1/2in-1/4in制御 S D: 1/2in-1/4in ※5) Cn-制御盤は、空調機メーカー工事とする。 (制御盤別設置の場合連結用配管配線は本工事とする。)</p> <p>※6) 電動機2台を有する空調機のケージには、ファン干渉防止用中仕切りを設ける。</p>										<p>1) コイル組合せ種別 C H: 冷温水コイル C: 冷水コイル H: 温水コイル S: 蒸気コイル (R): 再熱運転コイル</p> <p>2) 通過面風速は、2.5m/s以下とする。</p> <p>3) 温度条件 冷水温度: 8°C~13°C (Δt=5deg) 温水温度: 50°C~45°C (Δt=5deg) 蒸気圧力: 2.0kg/cm2以下</p> <p>4) 使用圧力 冷水コイル: 3.0kg/cm2以下 温水コイル: 9.0kg/cm2以下 蒸気コイル: 2.0kg/cm2以下</p> <p>5) ドレンパンはステンレス製とする。</p> <p>6) コイル出入口には、空気用温度計を取り付ける。</p> <p>※7) 再熱運転する機器のコイル離隔距離は600L以上としその間に点検口を (450×600) を設ける。</p> <p>※8) 冷却コイル、加熱コイルを併設した場合、コイルの離隔距離を300L以上とする。ただし、加熱コイルを外気側に設置する。</p>										<p>1) 種別 PW: 高圧スプレー 電動機特性 (単相200V) HW: 超音波加湿器 電動機特性 (単相200V) EW: 蒸気発生器 電動機特性 (単相200V) SW: 蒸気スプレー二連管式蒸気圧力 (2kg/cm2以下) VW: 気化式給水加湿キット (Y型3/4in+電磁弁+定流量弁) 付</p> <p>2) 加湿器は、ファンとインターロックする。</p> <p>3) エリミネータ PW、VWの場合のみ設ける。</p>				<p>1) 通過面風速は、2.5m/h以下とする。</p> <p>2) ろ材の予備は、100%とする。(パネル枠共) 但し、プレろ材の予備のみ100%とする。</p> <p>3) 型式 (全てモノメーター付きとする。) P1: ハネル型 (NBS法80%) 再生型 U: ユニット型 (NBS法80%) 非再生型 P2: ロール巻上型 (NBS法30%) 非再生型 電動機特性 (三相200V)</p> <p>4) 電気式は、制御盤付とし空調機用送風機とのインターロック用端子を設ける。</p> <p>5) ロール巻上型方式の場合は、タイマー式とし巻上げ警報接点とする。</p>				<p>1) ファンユニット以外のユニットは「S」は「L」付とし「H」付とする。</p> <p>2) コイル基礎は、建築工事とする。</p> <p>※3) カリコはコイル、ファン前後に取付けて、S1付とS2付以降の配線配管工事は本工事とする。</p> <p>※4) 点検口は、コイル、ファン前後に取付ける。また、加湿器点検用として覗き窓付きの点検口を設ける。 覗き窓 (内140φ二重ガラス) 点検口 (450×600H)</p> <p>※5) ダクト接続用相フランジは本工事を含むものとする。</p> <p>※6) 混気チャンバーは (内貼クロス亀甲金網押えGW25t付きとする)</p> <p>7) 2コのケーシングが上下に合わされる高さが2800以上の混気チャンバーはフィルター交換用キャットウォーク、手すり、タラップ等を取り付ける。</p>										

自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
AT	トランス	ATY72Z	既設流用
BFV	電動バタフライ弁	VY69D	既設流用
BV1	電動ボール弁	VY6100D2	水用、既設流用
DDCF	デジタル式調節器	WY7205B	既設流用
DPS	差圧スイッチ	PYY-CL13	既設流用
F	弁リネージュ	Q455F	既設流用
LF	液面リレー/電極棒	WLS261B/5P	既設流用
MDF	ダンパ操作器	MY6040A	既設流用
MRB	モジュロールモータ	M6285A	既設流用
MV1	電動2方弁	VY5110A	既設流用
MV2	小型比例2方弁+アクチュエータ	VY5912A+M7410C	既設流用
NP	温度設定器	QY7205	既設流用
R	補助リレー		既設流用
TD	温度調節器	T631C	既設流用
SW2	切換スイッチ	ATP22	既設流用
SCM	サブコントローラマスター	WY7222	既設流用
TDED1	温度・露点温度発信器	HY7019C	高分子、既設流用
THE1	温湿度検出器	HY7204A	Pt100Ω、高分子素、既設流用
TR	トランス	AT72-J1	既設流用
V2	2方弁	V5063A	既設流用
DDC	汎用コントローラー	WJ-111	撤去・新設(別途工事)
dP1	差圧スイッチ	PYY-604	更新
ME1V1	電動2方弁	VY5	更新
MREV2	電動2方弁	VY5	更新
BARV2	電動2方ボール弁 SR型	VY5	更新
TED1	ダクト用温度センサ	TY78	更新
TDED1	ダクト用温度・露点温度センサ	HTY79	更新
TD1	ダクト用温度調節器	TY68	更新

共通事項	<p>公立大学法人 埼玉県立大学</p>	局長	副局長	調整幹	部長	課長	担当	業務名称	工事名称			
									26埼玉県立大学情報センター棟空調設備改修工事			
									図面名称	縮尺	年度	図面番号
									空気調和設備 改修 機器表	A1:-	01	M-04



共通事項	公立大学法人 埼玉県立大学	局長	副局長	調整幹	部長	課長	担当	業務名称	工事名称	26埼玉県立大学情報センター棟空調設備改修工事	図面名称	自動制御設備 計装図	縮尺	A1:-	年度	01	図面番号	M-06
								株式会社 総合設備計画 一般建築士事務所 第12961号 本社 東京 支所 東北・札幌・名古屋・九州	印									

機器表 機器表は埼玉県仕様にする。

ユニット型空調和機		機器仕様		ファンユニット						コイル		冷却コイル					加熱コイル					加湿ユニット				メインフィルター		プレフィルター		付属品・特殊仕様		台数	設置場所 (階・室名)	備考			
機器番号	名称	形式	設置位置	送風量 m ³ /h	外気量 m ³ /h	機外静圧 mmAq	機内静圧 mmAq	電動機容量 KW	防振装置	風量静圧 装置	組合せ	冷却コイル					加熱コイル					種別	有効加湿量 kg/h	電気容量 KW	出口空気		形式	電気容量 KW	形式	電気容量 KW	湿気付加 L mm				特殊仕様		
												冷却能力 Kcal/h	入口空気 DB°C	WB°C	出口空気 DB°C	WB°C	水量 l/yin	加熱能力 Kcal/h	入口空気 DB°C	WB°C	出口空気 DB°C				WB°C	温水量・蒸気量 W/yin kg/h						DB°C	WB°C				
AC-D101	空調機 (保存書庫系統)	C	床	4,800	2,500	25		2.2	SPT	IN	CH		39,000	29.9	23.2	15	14.4	130	23,000	11	6	27.8	13.5	80	SW	16		27.8	16	PI		P2			1	1階機械室	
AC-D103(1)	アンダーフロア空調機	C	床	5,200	7,700	5		2.2	SPT	IN	CH		18,000	26.0	18.6	14.5	14.5	60	9,000	22	13.8	23.6	14.5	30	-	0				PI		P2			4	1階機械室	
共通事項		<p>1) 機器種の能力・容量は、表示された数値以上とし、電動機出力は、参考値とする。</p> <p>2) 電源周波数は、50Hzとする。また、モーター種数は4以上とする。</p> <p>3) 始動方式は、11.0kV以上スターデルタ始動で、7.5kV以下直入始動とする。</p> <p>4) 電動機の保護方法は、室内は防滴保護形で、屋外は全閉防まつ屋外形とする。</p> <p>5) 電源接続におけるスターデルタ電動機の電源接続ボックスが配管2本接続可能なサイズとする。</p> <p>6) ※印は、コンパクト型には適用しない。</p> <p>7) 機器などの記入寸法は、全て概算寸法を示す。</p> <p>8) 形式 V: 壁型 H: 水平型 S: システム型 M: マルチゾーン型 FR: 遠風機 C: コンパクト型 CF: コンパクト型 (遠風機) CX: コンパクト型 (遠風機・全熱交換機)</p>						<p>1) 機外静圧は、74Pa圧損を含むものとする。</p> <p>2) 電動機は三相×200V用とする。</p> <p>3) 防振装置ストッパー付 ファン・シグ部分のみとする。 P T: 防振パット (15t) GM: 防振ゴム S F: 防振スプリング (振動絶縁効率80%以上) S P T: 防振スプリングパット 4) 風量制御装置 IN: パナチ制御 SD: 制御パッド ※5) パナチ制御は、空調機メーカー工事とする。 (制御盤別設置の場合連結用配管配線は本工事とする。) ※6) 電動機2台を有する空調機のケースには、 7) 干渉防止用中仕切を設ける。</p>						<p>1) コイル組合せ種別 CH: 冷温水コイル C: 冷水コイル H: 温水コイル S: 蒸気コイル (R): 再熱運転コイル</p> <p>2) 通過面風速は、2.5m/s以下とする。</p> <p>3) 温度条件 冷水温度: 8°C~13°C (Δt=5deg) 温水温度: 50°C~45°C (Δt=5deg) 蒸気圧力: 2.0kg/cm²以下</p> <p>4) 使用圧力 冷水コイル: 3.0kg/cm²以下 温水コイル: 9.0kg/cm²以下 蒸気コイル: 2.0kg/cm²以下</p> <p>5) ドレンパンはステンレス製とする。</p> <p>6) コイル出入口には、空気用温度計を取り付ける。</p> <p>※7) 再熱運転する機器のコイル離隔距離は600L以上としその間に点検口を(450x600)を設ける。</p> <p>※8) 冷却コイル、加熱コイルを併設した場合、コイルの離隔距離を300L以上とする。ただし、加熱コイルを外気側に設置する。</p>										<p>1) 種別 PW: 高圧スプレー 電動機特性 (単相200V) HW: 超音波加湿器 電動機特性 (単相200V) EW: 蒸気発生器 電動機特性 (単相200V) SW: 蒸気スプレー二連管式蒸気圧力 (2kg/cm²以下) VW: 気化式給水加湿キット (Y型ストレーナー・電磁弁・定流量弁) 付 2) 加湿器は、ファンとインターロックする。</p> <p>3) エリミネータ PW、VWの場合のみ設ける。</p>				<p>1) 通過面風速は、2.5m/h以下とする。</p> <p>2) ろ材の予備は、100%とする。(パネル共) 但し、プレ材の予備のみ100%とする。</p> <p>3) 型式 (全てマノメーター付きとする。) P1: パネル型 (NBS法80%) 再生型 U: ユニット型 (NBS法80%) 非再生型 P2: ロール巻上型 (NBS法30%) 非再生型 電動機特性 (三相200V)</p> <p>4) 電気式は、制御盤付とし空調機用送風機とのインターロック用端子を設ける。</p> <p>5) ロール巻上型方式の場合は、タイマー式とし巻上げ警報接点付とする。</p>				<p>1) ファンユニット以外のユニットは必ず15tと30t付とする。</p> <p>2) コンクリート基礎は、建築工事とする。</p> <p>※3) リングはコイル、ファン前後に取付けて、2t付と2t付以降の配線配管工事は本工事とする。</p> <p>※4) 点検口は、コイル、ファンの前後に取付ける。また、加湿器点検用として覗き窓付きの点検口を設ける。 覗き窓 (内140φ二重ガラス) 点検口 (450x600H)</p> <p>※5) ダクト接続用フランジは本工事に含むものとする。</p> <p>※6) 湿気チャンバーは (内粘クロス電 甲金網押えGW25t付きとする)</p> <p>7) 2コのケーシングが上下に合わされる 高さが2800以上の湿気チャンバーは フィルター交換用キャットウォーク、 手すり、タラップ等を取り付ける。</p>					

共通事項	公立大学法人 埼玉県立大学	局長	副局長	調整幹	部長	課長	担当	業務名称	工事名称	26埼玉県立大学情報センター棟空調設備改修工事	縮尺 A1:-	年度 01	図面番号 M-07
								株式会社 総合設備計画 一級建築士事務所 第 1 2 9 6 1 号		印 。 。	図面名称 空調調和設備 撤去 機器表		

